

[WINSTAR CAD Ver.15]からのバージョンアップ内容一覧

新設、強化のあったコマンド名のみを記載し、変更のなかったコマンドは省略しています。

〔参考〕 新設コマンド:13、機能強化コマンド:19

【ファイル】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
SIMファイルを開く	測量系データファイル形式、SIM形式ファイルの読み込みに対応しました。	◎
CSV座標ファイルを開く	XY座標点が指定されたCSV形式ファイルの読み込みに対応しました。	◎

【編集】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
ストックムーブ	対象要素の指定時に、範囲枠Aモード・Bモードの指定ができるようになりました。	○
ストックコピー		○
ストックローテートムーブ		○
ストックローテートコピー		○
ホールド		○
マルチコピー		○
マルチムーブ		○

【表示】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
文字ペンの選択	文字専用のカレントペンを指定できます。	◎
カーソル設定	カーソルの画面表示上の表示幅の指定ができます。	○
画面情報の表示	以下の項目が追加されています。 文字ペンを作図ペンとは別に管理する/編集ストック編集ホールドで補助線を除外する	○

【作図】コマンド

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

階層1	階層2	新設、機能拡張内容	区分
中心線	範囲枠円の中心線	範囲枠内の複数の円に指定の中心線を作図します。	◎
曲線	螺旋	横幅・縦幅・回数、横幅・間隔・回数の指定による螺旋状の曲線を作図します。	◎
文字	範囲枠位置サイズ変更	範囲枠内の複数文字列に対して、X・Yの移動量指定による位置変更や、文字高・文字幅・文字間隔の変更ができます。	◎
	文字列の分解	[設定]-[文字の配置設定]で指定されている配置状態のまま保持するため、文字列を1文字ごとに分解します。	◎
補助線	要素間隔線	円、円弧を対象にできるようになりました。	○
	補助線削除	対象要素の指定時に、範囲枠Aモード・Bモードの指定ができるようになりました。	○
	データの補助線化	直線、円、円弧データをペン番号はそのままに補助線に変更します。	◎
	補助線のデータ化	補助線をペン番号はそのままに、直線、円、円弧の作図データに変更します。	◎

【加工】コマンド

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

階層1	階層2	新設、機能拡張内容	区分
複写	複数指定複写	対象要素の指定時に、範囲枠Aモード・Bモードの指定ができるようになりました。	○
	Z面の回転複写	回転角・距離・回数の指定により螺旋階段状の図形の作図ができます。	◎
移動	複数指定移動	対象要素の指定時に、範囲枠Aモード・Bモードの指定ができるようになりました。	○
	Z面の回転移動	回転角の指定により螺旋階段状の1ステップ分の図形の作図ができます。	◎
図面間複写移動	図面間複写元指定	対象要素の指定時に、範囲枠Aモード・Bモードの指定ができるようになりました。	○
	図面間複写元 複数指定		○
	図面間移動元指定		○
	図面間移動元 複数指定		○

【設定】メニュー

区分記号 ◎:新設、○:拡張、機能強化

メニュー名	新設、機能拡張内容	区分
文字の配置設定	文字列内の配置バランスを設定します。	◎
スタートメニュー	起動時にボタンクリックにより簡単に最初の動作を開始できます。	◎
システム設定	以下の項目が追加されています。 メニュー表示タイプの切替/スタートメニューの表示再開	○
[エーティ]フォントインストール	ユニコード対応の日本語・簡体字・繁体字・韓国語フォントに極細ゴシック体を追加しました。	○

【その他】

項 目	機能内容
セキュリティへの対応	Windows11に搭載されている強力なセキュリティ機能である「スマートアプリコントロール(SAC)」を初めとしたセキュリティに対応するため、最も厳格なEVコードサイニング証明書に対応しました。
状態表示のツールバー	文字のカレントペン項目を追加しました。
ファイルメニュー全般	図面の読み込み速度を向上させました。
DWG、DXFファイル	さらに、コンバートの精度を向上させました。
作図画面	非作図領域をグレー表示にし、作図領域との区別がつきやすくなるようにしました。
カーソル表示	十字カーソルとラバーバンドが重なったときの表示を改良しました。
編集コマンドの高速化	グループ、ストック、ホールド、マルチの各コマンドの描画速度を高速化しました。